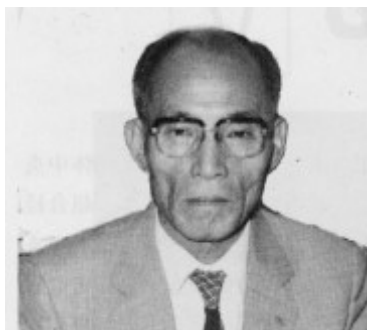


## 式 辞



### 大阪建設機械リース協同組合 理事長 佐川 重 徳

大阪建設機械リース協同組合が本日ここに創立30周年を迎えるに当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は建設省建設経済局・本田建設機械課長殿、通産省大阪通商産業局。関局長殿はじめ、関係諸官庁ならびに上部、友好団体のご代表、賛助会員の皆様や報道関係の皆さん方には、公私とも何かとご多用のなか、まげてご光臨をいただき心より厚く御礼申し上げます。

そして30周年の記念式典がこのように盛大に開催できますことを組合員一同この上もない光

榮に存じております。

私ども組合が昭和32年10月に大阪建設機械商組合として創立以来、早くも30周年を迎えることになりました。

ふりかえりますと、この30年の間わが国の経済は数々の起伏を経験してまいりましたが、私どもレンタル業は建設施工の機械化の中で重要な役割を果たしながら経済成長とともにめざましく発展の一途をたどってまいったのであります。これひとえにご臨席の皆様のお引き立ての賜ものと厚く感謝申し上げます。

## “新たな課題と試練に対応”

ご高承のとおり、わが国の経済は急速な円高が大きく影響し低迷状態が続いておりましたが、政府の内需拡大策等により、ようやく明るさを取り戻しつつありますことは誠にご同慶の至りであります。

特に関西では、関西新空港をはじめ明石海峡大橋、関西学研都市、花の万博等、大型プロジェクトが次々と動き始めており、こうした時に30周年の大きな節目を迎えることは大きな喜びであり、また意義の重大さに心の引締るものがあります。

今こそ、私どもは、近代化に向かって強力に

構造改善事業を推進し、社会公共のためにその使命を全うすべく、共存共栄を深めることが肝要と存じております。

今後は本式典を契機に新しい課題と試練に対応するため、さらに組合組織の強化充実に組合員一丸となって取組んでまいる所存でございますので、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

終わりに、ご臨席の皆様方のますますのご多幸とご健勝を祈念いたしましてお礼の言葉いたします。